

# 群馬労働局での勤務について (労働基準監督官)

～組織、群馬の魅力、研修、福利厚生、キャリアパスなど～

厚生労働省 群馬労働局

労働基準部 監督課

# 全ての「はたらく人」が安心して暮らせる社会を目指して

全国では、約410万の事業場で約5,300万人の人が働いています。

労働基準監督官は、労働法令の番人として、あらゆる職場に立ち入り、働く人の安全や健康を守ることを任務とする厚生労働省の専門職員です。

あなたの正義感を、すべての働く人たちのために生かしてみませんか？

# 群馬労働局長からのメッセージ

労働基準監督官を目指す皆さんへ

なぜ人は働くのでしょうか。

多く人は生きていくための「糧」を得る手段の一つとして仕事に就くのだと思います。仕事に対する目的や価値観は人さまさまなのでしょうが、安全で、安心して、そして健康に働くことができる労働環境において、働く人の能力は十分に発揮され、目的も達成できるのだと思います。

働く人の労働環境は、社会・経済情勢や企業の経営戦略などにも大きく影響を受けますが、いかなる状況にあっても、適法な労働環境は確保されなければなりません。

この目的のために、今日も労働基準監督官は活動をしています。

華やかな仕事ではないのかもしれませんが、しかし、あなたのその熱意と正義感が今、社会に必要とされています。

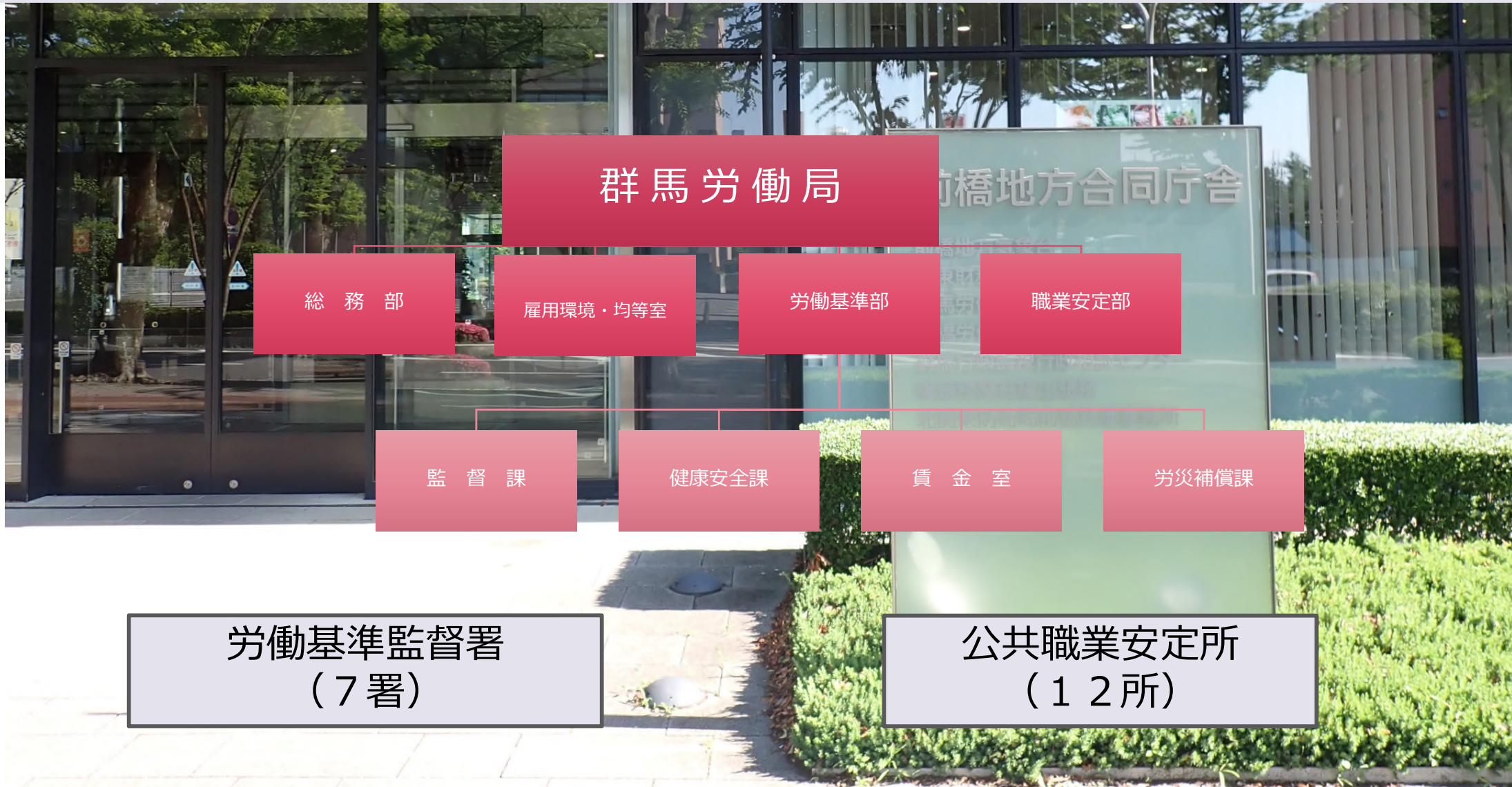
群馬労働局長 加藤 博人



H 3.4 厚生労働省入省  
H28.4 宮城労働局 総務部長  
H29.4 北海道労働局 労働基準部長  
H31.4 厚生労働省労働基準局監督課  
主任中央労働基準監察監督官  
R 4.4 群馬労働局長（現職）

# 監督官はどこで働いているの？

労働基準監督官は、主に労働局又は管内の労働基準監督署で勤務します。



# 群馬労働局管内の労働基準監督署の紹介

日本屈指の温泉大国、大手自動車製造メーカーを有する群馬では、工業、農業、商業、観光業など多種多様な産業で様々な経験を積むことができます！

## 中之条労働基準監督署

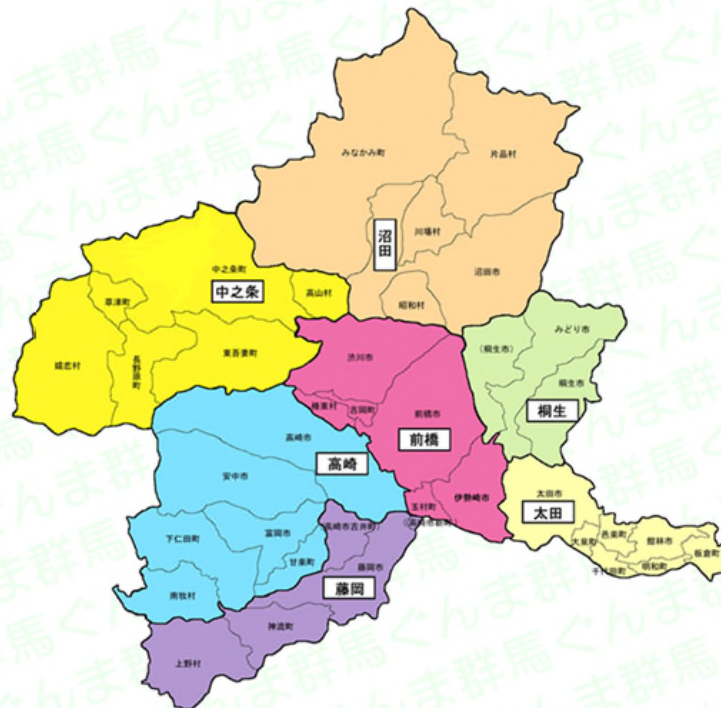
管内には、日本三名泉に数えられる草津温泉があり、農業も盛んです。群馬は、関東と信越をつなぐ交通の要所でもあります。

## 高崎労働基準監督署

首都圏への玄関口であり、県内一の商業と交通の要所です。IT企業から世界遺産の観光業まで、幅広い業種と多様な職種があり、仕事のやりがいがある職場です。

## 藤岡労働基準監督署

主要産業は製造業で、工場誘致も盛んである一方、名勝天然記念物「三波石峡」や「不二洞」などを有する自然豊かな地域です。チームワークの良さで管内の様々な問題に取り組んでいます。



## 沼田労働基準監督署

おいしく🍷、楽しく🎪、癒される🌿、自然あふれる地域です。日々変化する谷川岳を望み、雄大な自然とともに勤務することができます。

## 桐生労働基準監督署

国の重伝建群保存地区に選定された街並み、トロッコ列車が走る渓谷鉄道ありと、歴史と自然豊かな環境の下、仕事もプライベートも充実できます。

## 前橋労働基準監督署

主要産業は製造業を始め多岐にわたり、多様な業務経験を積むことができます。県内中心部に住むと転居せずに全監督署への通勤も可能です。

## 太田労働基準監督署

管内は、北関東随一の工業地域！東京70km圏内のものづくりが盛んな地域で、沢山の業務経験を積むことができます。

# 充実した研修が魅力です

労働関係法令の専門職員である労働基準監督官には、採用後1年間、充実した研修及び訓練が用意されています。



災害調査の現地訓練の様子

採用後に実施される研修は、法令に関する知識や産業の安全衛生に関する知識等を十分に修得できるカリキュラムとなっていますので、**文系・理系どちらの方でも労働基準監督官として活躍**することができます。

労働基準監督官は、採用後1年間、監督関係業務に係る基礎的研修及び実地訓練を受けます。この間に労働大学校で実施される中央研修（前期及び後期）を約3か月間にわたり受講することになります。

また、採用時の研修のほか、その後定期的に又は昇進時において中央研修が実施されます。

建設や化学物質等の理系の専門知識も一から学びます

## 採用後1年間のスケジュール例

4月～5月中旬

① 実地研修  
(前期)

監督署(局)で1.5か月

5月中旬～6月

② 中央研修  
(前期)

研修所で1.5か月

7月～8月

③ 実地研修  
(後期)

監督署(局)で2.0か月

9月～10月中旬

④ 中央研修  
(後期)

研修所で1.5か月

10月中旬～3月

⑤ 実地訓練

監督署で5.5か月



# 群馬労働局独自の研修プログラム

近隣の栃木労働局・茨城労働局とも連携して、新任・若手監督官向けに独自のスキルアップ研修や訓練を実施しています。

## 大規模製造工場

栃木局  
と合同



自動車製造工場で鋳造作業・クレーン作業・電気自動車の組み立て・危険体感訓練を学びました。

栃木局  
と合同



製鋼・圧延工場でクレーン作業・電気炉等の設備・鋼材の製造過程を学びました。

## 大規模建設工事

茨城局・  
栃木局と  
合同



トンネル建設現場で施工方法や労働災害防止対策等を学びました。トンネル内部の切羽（先端）まで歩きました。

茨城局・  
栃木局と  
合同



高さ約80メートルのダム建設現場で施工方法や労働災害防止等を学びました。

# 群馬労働局独自の研修プログラム

理系・文系にかかわらず、一人前の監督官になれるよう全力サポートします。

## 北関東三県合同若手監督官研修

茨城局・  
栃木局と  
合同



労働安全衛生法違反の調査をテーマにブレインストーミング方式による班別討議を実施しました。

茨城局・  
栃木局と  
合同



リモート方式で送検事例の発表や意見交換を実施しました。

群馬労働局では、その他にも

- 新任労働基準監督官研修（新任労働基準監督官を対象に管内概要や業務運営等の基礎的知識を学ぶ）
- 新任安全衛生業務担当者研修（新任安全衛生業務担当職員を対象に安全衛生業務に必要な基礎知識を学ぶ）
- 新任労災・適用徴収担当者研修（新任労災・適用徴収業務担当職員等を対象に労災補償及び適用徴収の基礎知識を学ぶ）
- 司法実務研修（特別司法警察員としての資質及び捜査能力の向上を図る）
- 安全衛生技術研修（安全衛生業務に必要な技術的知識の向上を図る）

などの独自の研修を幅広く実施しています。





# 群馬労働局のワーク・ライフ・バランス

組織を挙げて育児や介護、プライベートと仕事との両立に取り組んでいます。

## ■ 1か月1日以上の有給休暇取得率

マンスリー休暇のほか、GWや夏季休暇、年末年始に連続した年休取得を推進しており、**多くの職員は連続1週間以上の長期休暇を取得しています。**

令和4年度 **95%**

1年平均 **17.2日**

## 育休取得した監督官の紹介

前澤 丞一郎  
平成30年度任官  
[採用区分：A（法文系）]

経歴（育休歴）  
R3.4 群馬局高崎署労災課  
R3.6～7月末  
第1子誕生のため育児休業取得  
R5.4 労働基準部監督課



## ■ 育児休業の取得率

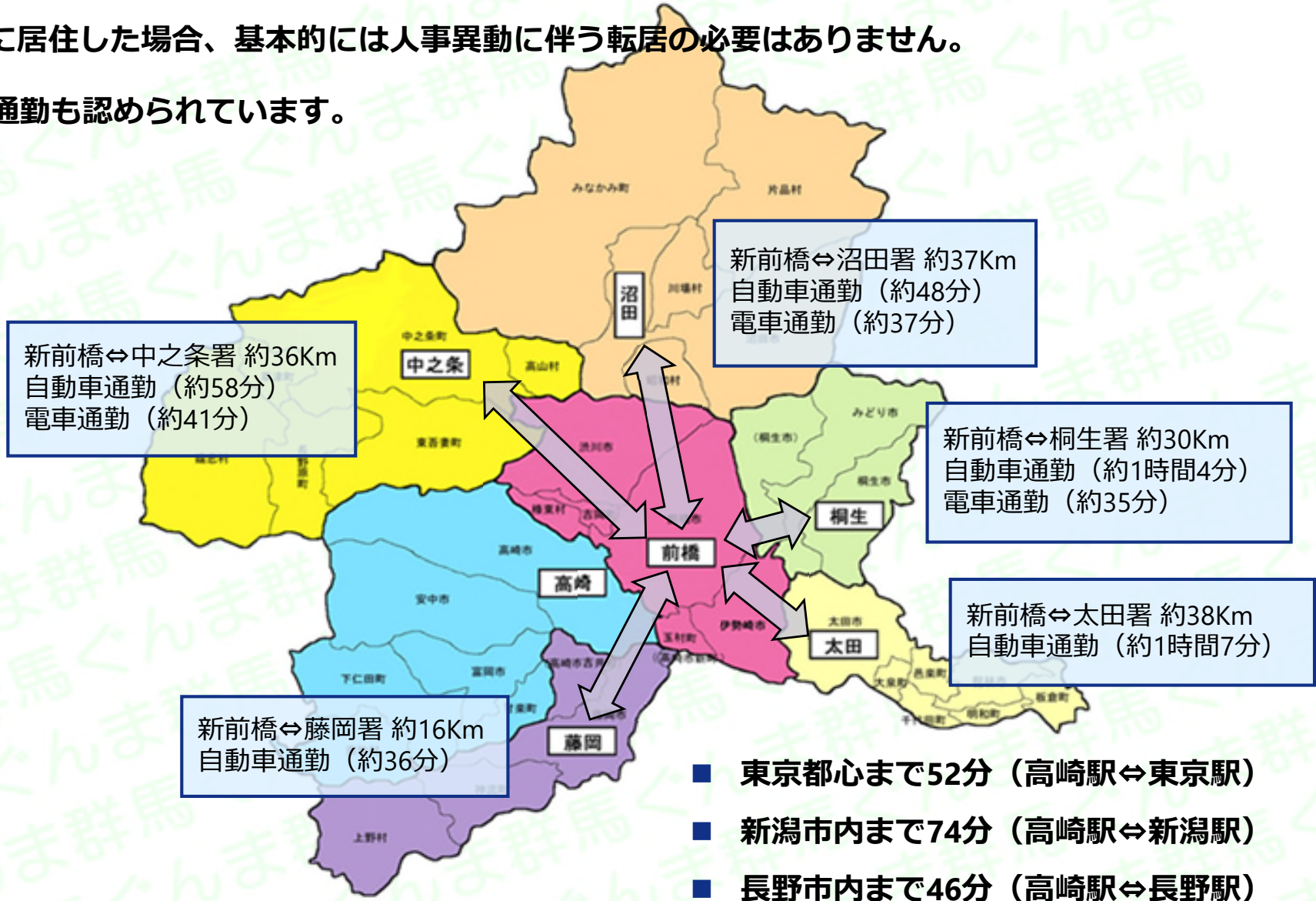
男女ともに **100%**

男性職員で、**数カ月以上の育児休業**を取得する方が増えています。

新生児と触れ合える機会は、人生でも極わずかです。この期間、付きっきりで子供の世話をしたり、成長をすぐそばで観察できた時間は、とても贅沢でした。労働局は育休取得を企業に呼びかける機関でもあるので、育休取得に対応する体制も整っています。子供との絆を育む重要な期間でもありますので、子供が誕生した際には、皆さんにもぜひ育休を取得してほしいと思います。

# 通勤事情等

- 県内中心部（前橋市・高崎市）から各監督署庁舎へのアクセス良好！！  
県内中心部に居住した場合、基本的には人事異動に伴う転居の必要はありません。
- 自家用車の通勤も認められています。



# 採用後の異動・キャリアパスについて

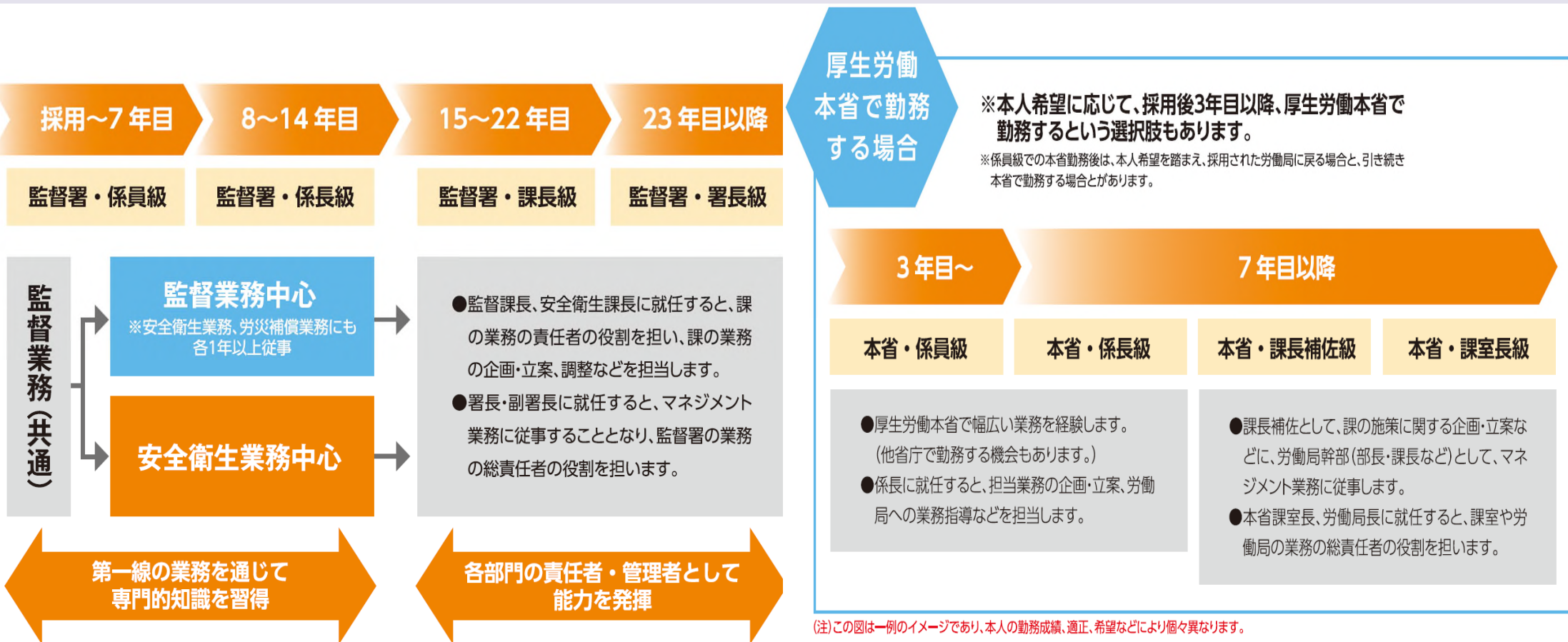
採用後は主に採用された労働局又は管内の労働基準監督署で勤務します。

採用後の3年目からの2年間については、採用された労働局とは別の労働局管内で勤務します。

採用後は、監督業務を中心とするキャリアパスと、安全衛生業務を中心とするキャリアパスがあります。

※ 監督業務を中心とするキャリアパスでは、総合性を高めるため、採用後15年目までに、安全衛生業務と労災補償業務に各1年以上従事することとなります。

※ どちらのキャリアパスでも、将来的な昇進等に差はありません。



# 先輩監督官にインタビュー

平成31年度任官 [採用区分：A（法文系）]  
高崎労働基準監督署所属  
芥川 祥太

## 【経歴】

H31.4 群馬労働局 高崎署 第一方面  
R 3.4 高知労働局 安芸署 監督・安衛課  
R 5.4 群馬労働局 高崎署 安全衛生課



労働基準監督官試験を受験した理由は、友人が勤め先と給与関係の労使トラブルになったときに労働基準監督署の存在を知り、中でも労働関係法を扱う「労働基準監督官」の仕事に魅力を感じたからです。

労働基準監督官の魅力は、製造工場や建設現場などの実態を直接自分の目で見て確認し、問題点があれば、法律的な専門知識に基づき事業場を指導して、安心・安全な職場環境づくりに繋がっていきける専門性の高さだと思います。

また、仕事とプライベートの両立もしっかりできるので、休日には趣味の鮎釣りや旅行などを楽しんでいます。私はもともと県外出身者ですが、群馬県は、豊かな自然に囲まれながら、東京など都心へのアクセスも良好で、とても暮らしやすいところだと思います。

生活する上で必須な「働く（労働）」環境を、誰にとっても安心・安全な場所になることを目指して、皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。

# 令和4年度採用監督官にインタビュー



所属：前橋労働基準監督署  
採用区分：A（法文系）



所属：前橋労働基準監督署  
採用区分：A（法文系）



所属：高崎労働基準監督署  
採用区分：B（理工系）

## 質問①（監督官になった理由を教えてください）

大学時代に、インターンシップに参加したことがきっかけで労働基準監督官を志しました。労働環境を守るために、責任感を持って業務に取り組む姿に憧れました。

## 質問②（群馬労働局を選んだ理由は何ですか）

群馬県内にはあらゆる業界の事業場が集まっているため、経験を積むのによい環境だと感じたからです。

また、地元と新幹線で結ばれており、帰省するときも便利だなと思ったからです。

## 質問③（職場の雰囲気はどうですか）

分からないことを気軽に質問できる働きやすい環境です。全員が積極的に年休を取得しているため、気兼ねなく休みを取ることができます。

## 質問④（プライベートと両立できていますか）

休みの日は趣味であるテニスをよくしています。平日も残業が遅くまでかかることがないのでプライベートとの両立ができやすい職場です。

## 質問⑤（受験者へのメッセージをお願いします）

「何かを勉強したり、新しいことを習得することが好き」、「人の話を聞いたり、伝えたりすることが好き」「人のために何かしたい」・・・といったことが当てはまるのであれば一度労働基準監督官という職業について考えてみませんか！？

労働基準監督官の仕事は労働基準法をはじめ、その他様々なことを勉強する必要があります。今まで自身が知らなかった世界を広げる機会に恵まれた仕事だと思います。一緒に働ける日を楽しみにしています。